

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年4月1日
【会社名】	川崎汽船株式会社
【英訳名】	Kawasaki Kisen Kaisha, Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 村上英三
【本店の所在の場所】	神戸市中央区海岸通8番
【電話番号】	(078)325 8727 (ダイヤルイン)
【事務連絡者氏名】	神戸総務グループ長 浅川敦
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区内幸町二丁目1番1号
【電話番号】	(03)3595 5637 (ダイヤルイン)
【事務連絡者氏名】	経理グループ長 坂本隆道
【縦覧に供する場所】	川崎汽船株式会社本社 (東京都千代田区内幸町二丁目1番1号) 川崎汽船株式会社名古屋支店 (名古屋市中村区那古野一丁目47番1号) 川崎汽船株式会社関西支店 (神戸市中央区栄町通一丁目2番7号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号) 証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番2号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成28年3月31日

(2) 当該事象の内容、(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

構造改革費用等の見込みについて

ドライバルク事業において、中国経済の減速が顕著となるなか、資源需要の減退に伴い、荷動きが停滞した結果、市況は史上最低水準を下回るまで下落しました。原油、鉄鉱石等の資源価格及び需要は一定の回復の兆しを見せていますが、船腹需給バランスの改善は暫くの時間を要するものと見込まれます。事業を取り巻く環境が構造的な変化に直面するなか、当社グループが運航する中小型船を中心に船隊規模の縮小を一段と加速させ、市況へのエクスポージャーを低減するため、構造改革の実施を行うことといたしました。この結果、追加の保有船の処分及び傭船の早期解約、並びにドライバルク船の一部における減損損失等により特別損失等で約500億円の計上を見込んでいます。

平成28年3月期連結会計期間における投資有価証券評価損

「その他有価証券」に区分される投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復する見込みがあると認められないものについて、平成28年3月期第4四半期連結会計期間において減損処理による投資有価証券評価損を計上いたします。

平成28年3月期第4四半期連結会計期間（平成28年1月1日から平成28年3月31日まで）の投資有価証券評価損の総額	8,365百万円
---	----------

四半期連結会計期間における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。
当社の決算期末は、3月31日です。

以 上